

のう じ でん そう

農時電送

水稲 No.②

JA 新函館・若松支店

JA きたひやま

JA いまかね

檜山農業改良普及センター

せたな地区水稲部会・北檜山町農協地区水稲部会・今金町稲作部会

檜山北部支所 (84-5514)

1 水稲の生育状況について

- (1) は種後の好天により、生育は平年よりやや進んでいます。
- (2) 成苗ポットでは、「は種後25日程度で4葉」を迎えています。
- (3) ほ場の準備が出来たら、早めに移植しましょう。

2 今後の育苗管理について

- (1) 移植1週間前からは、降霜に注意しながら、夜間もビニールを開放しましょう。
- (2) 水分要求量も多くなるので、日中は、水分不足にならないよう注意しましょう。
- (3) 移植前3～5日前には追肥を実施しましょう。

〈移植前の追肥〉 移植3～5日前に追肥・・・弁当肥、移植後の活着・発根を促す。

育苗形式		箱マット	成苗ポット・型枠
銘柄	育苗液肥	100倍液・500ml/箱	200倍液・500ml/箱
	NP化成	7g/箱	3.5g/箱
	硫安	5g/箱	2.5g/箱

※育苗緩効性肥料(マイクロロング、エコロング等)を施肥した場合は不要。

3 移植作業について

- (1) 強風・低温の日の移植作業は避けましょう (植傷み防止)。
- (2) 「移植直後～2日間」は、4～6cmのやや深水で、管理しましょう
- (3) 初期茎数の確保のため、植付深は1.5～2.0cmを目安としましょう (深植は避ける)。
- (4) 高品質米 (低タンパク米) は、下記の栽植密度を遵守しましょう (疎植は避ける)。

	中苗マット	成苗ポット
栽植密度	25株/m ² 以上 (株間11～12cm)	22株/m ² 以上 (株間12～13cm)

4 除草剤の散布について

- (1) 5月に入り、平年よりも日照時間が多く確保されています。
- (2) 水温が高まり、**雑草の生育も早まる**と考えられます。
- (3) **除草剤散布は、移植後早めに**散布しましょう。

農作業安全・事故防止! 農薬の安全使用の徹底を!